

令和4年 第11回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和4年12月8日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

出席委員の氏名

教 育 長	加藤 雅也			
教育長職務代理者	永田 淑子	委 員		堤田 綾子
委 員	浅野俊太郎	委 員		小藤 省吾

出席職員の氏名

教 育 部 長	糸山 英巳	次長兼学校教育課長	榊原 全伸
生涯教育課長	伊藤誠一郎	スポーツ課長	田中 孝往
町民会館事務長	藤井 信介	歴史民俗資料館長	神谷 芳美
中央公民館長	内田 大介	生涯学習課課長補佐	西川 正洋
町民会館事務長補佐	栗田 宗広	スポーツ課課長補佐	石川 恭太
給食センター所長	青木 隆	学校教育課課長補佐	藤井 千絵
学校教育指導主事	岩田 圭司	学校教育指導主事	神谷 俊輔

：欠席者

1. 開会 午後1時30分

2. 開会宣言並びに第10回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第11回定例会の開会を宣言します。

(学校教育課長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(学校教育課長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名と押印は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

(学校教育課長) それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

- 11月10日(木) ・町定例教育委員会
- ・教育委員と校長との人事面談
- ・県町村教育長研修会
- 11月16日(水) ・定例校長教委管理職会議
- ・町教育支援委員会

- 11月17日（木） ・ 福寿大学閉校式
・ 制服改定準備委員会
- 11月18日（金） ・ パラリピアン 銅メダリスト 大島選手講演会
- 11月20日（日） ・ 武豊町文化講演会 辛坊 治郎 氏
- 11月22日（火） ・ 教育課程研究会
- 12月 8日（木） ・ 町定例教育委員会

（学校教育課長） 議事進行を教育長にお願いします。

4. 議 事

（教育長） 議案第31号「武豊町食物アレルギー対応委員会設置要綱の改正」について、事務局、お願いします。

議案第31号「武豊町食物アレルギー対応委員会設置要綱の改正」について

（給食センター所長） 当日配付資料の説明

武豊町食物アレルギー対応委員会設置要綱 第3条第1項中にある同会の委員の人数を「10 人」から「15 人」に改めます。理由としましては、同会に町内全小中学校から関係者の参加を求めるため及び将来的に消防関係者等の参加が必要になることが見込まれるためです。

（教育長） 今の件でご質問等はございますか。

（教育長） ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第31号「武豊町食物アレルギー対応委員会設置要綱の改正」について、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

（教育長） 本案を承認可決することといたします。

（教育長） それでは議案第32号「武豊町総合体育館の休館日」についてお願いします。

議案第32号「武豊町総合体育館の休館日」について

（教育長） 議案第32号「武豊町総合体育館の休館日」についての審議を行います。事務局から説明をお願いします。

(スポーツ課 課長補佐) 当日配付資料の説明

令和4年12月27日を、武豊町総合体育館の臨時休館日といたします。理由としては、武豊町総合体育館エントランス天井等非構造部材の改修工事に伴う仮設工事の実施にあたり、利用者の動線と工事の施工範囲を完全に区画することが困難なためであります。

(教育長) 今の件でご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第32号「武豊町総合体育館の休館日」について、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案は、原案のとおり採択することに決しました。

(教育長) それでは議案33号についてお願いします。

議案第33号「武豊町屋内温水プールの休館日」について

(教育長) 議案第33号「武豊町屋内温水プールの休館日」についての審議を行います。事務局から説明をお願いします。

(スポーツ課 課長補佐) 当日配付資料の説明

武豊町屋内温水プールの休館日について、令和5年2月17日から25日までとします。理由としては、知多南部広域センターの点検に伴う熱供給停止のためであります。

(教育長) 今の件でご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。案第33号「武豊町屋内温水プールの休館日」について、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案は、原案のとおり採択することに決しました。

(教育長) それでは議事を終了し、進行を学校教育課長にお願いします。

5. 報告事項

(学校教育課長) 続いて、報告事項に移ります。

(1) 令和4年12月議会一般質問の概要について

(学校教育課長) 一般質問で出された質問と答弁について説明

櫻井議員…コミュニティ・スクール制度導入等について

石川議員…学校における働き方改革について

梶田議員…給食の無償化について

(2) 小・中学校卒業式・入学式について

(指導主事) 資料1の説明 告辞・来賓祝辞・服装に関する事項の確認

(3) 年度末・年度始 各種行事の出席依頼等について

(指導主事) 資料2の説明 出席者の確認

① 小中学校卒業式(小 3/20, 中 3/7)

② 退職辞令伝達式(3/31)

③ 教職員発令通知・教委辞令伝達式(4/3)

④ 小中学校入学式(小 4/6, 中 4/7)

(4) 辞令伝達式等の日程について

(指導主事) 資料3について説明 出席者及び日程、会場の確認

(5) 令和5年度会計年度任用職員の採用について

(学校教育課 課長補佐) 資料4の説明

スクールアシスタント、特別支援員、生活支援員、図書整理員等を公募予定

(6) 令和5年度学校給食実施予定日について

(給食センター所長) 資料5の説明

(7) 学校給食週間、卒業お祝い給食について

(給食センター所長) 当日配付資料の説明

【学校給食週間】 令和5年1月 23日(月)～27日(金)

【卒業お祝い給食】

2月28日(火)～3月3日(金)

(8) 学校の近況について

(指導主事) 各校の様子、不登校児童生徒数の推移、アレルギー対応児童生徒の現状 等

(9) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料6について説明(12月～3月)

6. その他

(学校教育課長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

- ・ 文化の秋という言葉に代表されるように、11 月には武豊町で「産業まつり」「辛坊治郎 氏 講演会」等が催されました。このようなイベントに、多くの町民が参加をしたと聞いています。これは、コロナ禍によって行動を制限されていた人々が、文化に触れることを求めている証左と言えるでしょう。感染症対策の徹底など、「ウィズ コロナ」の時代にふさわしいイベントでした。

しかし、新型コロナウイルス感染症は、まだ収まっていません。武豊町でも、毎日何人もの感染者が確認されています。町内の学校では、学級・学年閉鎖もありました。今後も、「1」か「0」ではなく、地域の感染状況を鑑みながら、知恵を出し合って柔軟に対応していく必要があると考えます。それによって、そこに住む人々の願いや思いを大切にしていいただければと思います。

- ・ 先日、保育士が3人逮捕されるという事件がありました。その要因の一つとして、保育園の人員不足、新型コロナウイルス対応等による多忙化が挙げられています。これによって、保育士の心理的ストレスが増大し、事件に至ったとのことでした。

これは、学校にもあてはまることと言えます。ある学校を訪れたとき、職員室にはほとんど人がいませんでした。担任のコロナ感染による補欠対応等、コロナ禍は教職員の多忙化にも拍車をかけています。コロナ禍による影響は、学校だけではなく、家庭や社会にも、大きな変化を生み出しています。それは子どもを取り巻く環境や、子ども自身のものの見方・考え方にも影響を及ぼしていることでしょう。

そのような中、先日、10年ぶりに文科省によって「生徒指導提要」が改訂をされました。「生徒指導提要」とは、いわゆる教師にとっての生徒指導のガイドブックです。この改訂により、従来までの教師によるトップダウン式をイメージする生徒指導から、「発達指示的生徒指導」という言葉が表すように、その子のよさや可能性を伸ばし、成長させるための生徒指導へと変わりました。換言すると、子ども一人一人に合わせた「支援」としての生徒指導であり、教職員は、その成長・発達を「支える」役割を果たすということです。

コロナ禍により、子ども一人一人を取り巻く環境やものの見方、考え方は大きく変容していることが予想されます。そのような今だからこそ、新しい「生徒指導提要」の考えは、個を大切にする現代の教育にとって価値あるものと考えます。これによって、その子のよりよい成長につなげていければと思います。

(教育委員)

- ・ 新型コロナウイルス感染症は、今なお、社会に影響を与えています。ワクチン接種による死亡者の報道は、人々に不安を感じさせています。町内では、学級閉鎖も相次いでいます。新型コロナウイルスが流行して3年目になりますが、人々の不安感は払しょくされていません。

しかし、様々な行事や催し物も行われるようになってきており、そこからは、コロナ禍以前の生活に戻そうという人々の願いや知恵、努力を読み取ることができます。

先程、指導主事から12月の現時点では、町内小中学校の卒業式・入学式をコロナ禍以前の形に戻す方向で検討していると聞きました。その決断の背景には、子どもや保護者にとって心に残る式にしたいという関係者の方々の願いを読み取ることができました。その願いの裏には、人々の不安感を消すために、感染症対策の徹底など様々なところまで細かな配慮がなされていると推測いたします。

子どもたちのために、学校教育をあるべき姿に戻そうとしている関係者の方々に感謝申し上げます。

- ・ 先日、保育士が3人逮捕されるという事件がありました。その背景には、人員不足があったと言われています。人員不足は、保育園が抱える大きな問題の一つですが、一朝一夕には解決しがたい問題です。

そのため、まずは、今いる職員の「横」のつながりを築くことが大切でしょう。関係者が、助け合い、補い合い、支え合うことで、「絆」が生まれると考えます。この「絆」によって、問題が生じてもみんなで解決していこうという雰囲気醸成されることでしょう。また、「横」だけでなく、管理職との「縦」のつながりも大切でしょう。この、「横」と「縦」のつながりを強固にすることが、問題解決の糸口の一つと考えます。

これは、保育園だけでなく、小中学校にもあてはまることでしょう。学校現場が、「人手不足」「多忙化」と言われて久しいです。大変な状況にあることは重々承知しておりますが、このようなときだからこそ、日々の教育活動の中で、「横」と「縦」の結びつきを深めてほしいと願います。そうすることが、今すぐにできる対応策の一つと言えるでしょう。教職員相互の信頼関係を高め、問題に対して「チーム」として対応できるようにすることで、子どもたちの健やかな学びにつなげていただければと思います。

(教育委員)

先日、滋賀県にあるミホミュージアムに行きました。年齢を重ねてから充実した収蔵品を見ることで、様々な思いに馳せることができ、大きな感動を味わいました。

私は半田市出身です。当時の小学校の修学旅行の行き先は、伊勢でした。初めて京都・奈良の地を訪れたのは、20歳を過ぎた頃でした。その時見た、金閣寺の壮麗さ、大仏の荘厳さは今も心に残っています。まさしく、今回のミホミュージアムと同様の感動でした。

ミホミュージアムの見学を通して、そのようなことを考えていると、ふと、コロナ禍における修学旅行のことが頭に浮かびました。

コロナ禍による3年の間には、不安から修学旅行を断念した子もいることでしょう。また、京都・奈良等の当初の目的地を変更し、修学旅行を実施した学校があるとも聞いています。コロナ禍以前のような形で修学旅行を実施できなかったことは、悔いが残るかもしれません。しかし、修学旅行に向けて事前に学んだことは、その子の糧になっていることでしょう。今はその学びが胸の奥にしまわれているかもしれません。しかし、数年後、あるいは大人になったときに、実際にその地を訪れる機会があるならば、そのときの学びが実り、大きな感動につながるかもしれません。

そのような感動の瞬間が、将来、多くの子に生まれることを願ったミホミュージアムの見学でした。

(教育委員)

先日、新聞に東浦町の緒川小の教育活動の取組が載っていました。緒川小は、1978 年からオープンスクールを取り入れ、一人一人に応じた教育の実現を目指している学校です。中央教育審議会が取りまとめた「令和の日本型学校教育」の考え方の両輪である、「個別最適な学び」「協働的な学び」の教育理念を体現している学校と言えます。

緒川小のような、いわゆる教育先進校は全国各地にあります。そこでの教育が、他の都道府県・市町村に広まることは、多くの子どもの教育の充実につながることでしょう。

教育先進校の取組が価値あることは言うまでもありません。その上で、より強く望むことは、そこでの教育活動が、子どもの将来にどのような影響を与えたかを検証することです。卒業をした子どもが、どのような進路をとり、社会に出てどのような活躍をしているかを長期的なスパンで検証してこそ、その研究の客観性・有効性が証明されると言えるでしょう。

「教育は未来への投資」と言われます。「未来（現在）」における子どもの姿の検証まで、適切に実施されること望みます。

(学校教育課長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和 年 月 日
署 名

.....

.....

.....

.....

.....

作成者.....岩田 圭司